

'11 のべおか

第九

のべおか第九だより (第469号)

2011年11月20日 (日)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

<http://www.horita.jp/dai-9.html>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。 ----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
森口先生の指導を復習	◆ ソプラノ	38 人	25 人	65.8%	63.6 点
○ A (237~330小節) p.9~18	♥ アルト	67 人	48 人	71.6%	66.3 点
○ B (411~654小節) p.21~35	♣ テノール	28 人	23 人	82.1%	75.0 点
○ C (655~762小節) p.35~47	♠ バス	40 人	19 人	47.5%	68.8 点
○ D (795~920小節) p.50~63	● 合計	173 人	115 人	66.5%	68.1 点
12月17日まであと 27日					

♪ 森口先生の指導



@ 「合唱幻想曲」 編

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♨バス

★…お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

- 444 【Gro - Bes,~】 …(ひととおり歌ってから)…ちょっと全部を硬く歌いすぎています。レガートに歌ってもらえますか。“…schön…”、“…美しい…”。それが硬い感じがします。もっと丁寧に、もっと良いものを、もっと大切に。



- 446 【drun - gen, blüht dann】 “drun-gen,”の“…u…”。“…ウ…”というのは外国人のような骨格ができていませんので、僕らの弱点なんですね。だから意識して広げるように意識しておかないと、あくまで歌詞は外国語ですからね。
- 450 【schwun - gen. halt ihm】 応用です。“drun-gen,”と同じ“schwun-gen,”。意味は違いますが、発音という点ではまったく一緒。



- 456 【Kunst. Wenn sich】 “Kunst.”の“…u…”(発音)!! 喉をしめちゃダメですよ。体内から自分の喉を通して、口の中の形があって、ホールへと繋がってる。それぞれバラバラにならないように。
- 459 【Men - schen Göt - ter -】 “Men-schen”、“…n…n”は口を閉じない。
- 460 【Gunst.】 “…u…”の発音が出てきます。もちろんそれを気をつけて。それとこれは4分音符ですから、皆さんののは長過ぎます。“…st.”というのが次の拍の頭には言い終わってほしい。元々は“Gunst.”という言葉、短母音です。



- 464 【hin, ihr~】 “hin, ihr schö - nen”は短くしすぎです。少し響きを意識して。“どうぞ受け取ってください”ということです。“受け取れコノヤロー”じゃないです(笑)。相手に優しくボールを投げてください。……“hin…-nen”の“…n…n”は“…m…”(口を閉じる)にしないでください。

- 466 【See - len,】 pになったからといって、消極的にならないでください。再三言っていると思うのですが、pほどしっかり体を作って遠くに音を飛ばさないという意識を持たないと。ただ小さいということじゃなく。今、“See-len,”という言葉で力がなくなっている。“See-len,”というのは一番言いたい言葉です。“魂”とかそういう意味です。一番言いたい言葉が弱々しくなるわけがない。なんでここでpかという、大切だからです。
- 472 【Ga - ben〜】 もっともっと前に出して!! “Ga-ben schö-ner Kunst,.” もっと聴いている人にあげたいです。
- 482 【Nehmt die〜】 最初にここにcresc.と書いてあるんですけど、皆さんはページめくって16ページになったときに忘れちゃってる!? 490小節のPrestoでfになるんですよ。ここまでcresc.を忘れないで。もっと490小節まで持って行ってください。Prestoまでがcresc.ということが見えてないとだめ。
- 490 【Kunst, froh die】 “Kunst,.”は絶対短くないと、次が間に合いません。すぐにPrestoに切り変える。



- 521 【Göt - ter -】 “Göt-ter-Gunst,.” “神様”というところが一番聴かせたいとこと。そこに向かって進んでください。何度も繰り返される“Göt-ter-…”という言葉、最後にだめ押し(528~530小節)。
- ★ 521 【お話し】 “Kraft,.”という言葉、何回も繰り返されますけど、ベートーベンらしい言葉ですよ。 “力”ということ。 “力”だけじゃないですよ。 “liebe”。 “愛”と“力”、これは“女”と“男”を象徴的に表しているんだと思いますが、これらが合体してはじめてつまらない人間もより高いところに行く…片方だけじゃダメという。
- 547 【Nehmt die〜】 “Nehmt … Ga-ben …”もうちょっとレガートで。とても美しいところです。“…… schö-ner Kunst,.”(554)と、ここに持ってきてください。
- 554 【Kunst,】 “Kunst,.”は短くね。
- 556 【Wenn sich〜】 …? はい、何言ってるかわかんない!? “Wenn sich Lieb' und Kraft ver-mäh-len,.”これは喋らないとだめです。
- 582 【Gunst,〜】 “Gunst,.”という言葉(582,586,590,596)は短い言葉ですから、ギリギリまで粘る必要ありません。それぞれ拍の中に入れてください。“Gunst,.”という言葉はそんなに長くないですから。…全音符ついてますから、短く切るわけではないですけども、少し短めに処理して“…st,.”という部分が拍の中にきっちり入るように心がけてください。
- 596 【Gunst,】 “グー…”と浅くならないように。

@ 「第九」 編

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

★…お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

- 238 【Freu-de!】 …今のは、授業中に寝てた人がFreu-de!と言われて「…Freu-de?」って誰しも経験あると思うような歌いだし… (笑)。待ち構えておいてください。
- 257 【Dei-ne Zau-ber~】 …はい? 遅れないのはいいんだけど、ちょっと走ってますよ(~ 264) 。言葉を噛み締めながら、もうちょっと落ち着いていきましょう。 ……(“Dei-ne Zau-ber”からリズム読みをしてみて)…今のは1個1個を分け過ぎです。“Dei-ne Zau-ber bin-den wie-der,”少なくともここまで。“あなたの力でふたたび結びつけた”、何を?“was die Mo-de streng ge-teilt;”。“…Mo…”の部分は長いです。)“…引き裂かれたものを…”です。少なくとも2小節はひとつの文章として歌いましょう。



- 257 【Dei-ne Zau-ber】 “Dei-ne”は誰をさしているのか? 雑にならないように。“あなた”、“神”の力によって…というところです。 ……“神”はどこにいますか? もっとイメージを上に。
- 260 【streng ge-teilt; al~】 「“al-le” “Men-schen” “wer-den” “Brü-der,”」じゃないんですよ。 「“al-le Men-schen wer-den Brü-der,”」(繋げて歌う)です。そして“Brü-der,”が一番欲しい言葉。言葉の繋がり、何が一番欲しい言葉なのか…確認しながら歌いましょう。もっと歌詞を自分のものにしてください。



- 260 【streng ge-teilt; al-】 “ge-teilt;”。“ゲッ…タイト”じゃないですよ。跳ねちゃってるような感じがある。“ゲタイト”と繋がってますから。“ge-teilt;”、一つの単語です。



- 284 【Ja,】 “Ja”のあとに“,”がありますから、少しそれを意識してください。“Ja, wer…”。“ヤーベル…”と聞こえてしまっている。ちょっと分けてください。……切れたけど、今度は短くなりすぎている!? “Ja”という言葉の長さを保ちながらも“,”を入れる。



- 287 【sein nennt auf dem】 “sein”という言葉でまず舌が“…n”の位置 (上あごの裏)にいきますね。“sein nennt”。“…n n…”ここは“n”の時間が凄くあるんです。“ザイン ネット…”。
- 288 【Er-den rund! Und】 “Er…”、“エールデン”。“r”を巻ける人は巻いてください。発音は自分たちの言葉じゃないので、なかなか難しいものではありますが、常に本番直前までチェックを怠らないでください。



- 313 【Küs-se gab sie〜】 (~320…)音楽の流れがなくなったらまずいんですけども、今、言葉がつんのめっちゃってるのが気になる!?
- 313 【Küs-se gab sie】 “Küs-se”、つねに前に。喉から手が出てくるように。口は普通に“ウ”、そして“イ”と言う。
- 318 【Wurm ge-ge-ben,】 “Wurm”。“虫けら”これは無理して“…r…”を入れようとする、“ヴルーム”と言っちゃってる人がいる!? しかもこれは結構速いですから、“ヴーム”。“虫…”っていても子どもが喜ぶようなものじゃないです。手で持てないやつです。…快樂っていうのはそんな虫けらでも得ることができる…という。
- 319 【und der Che-rub】 “Che-rub”、天使の中でも一番位の高い天使です。これが出てきたときは、パツと明るくならないと。
- 330 【Gott.】 結構…長く伸ばしたいので、そのつもりでいてください。dim.にならないように。
- 411 【Lau-fet,】 “Lau-fet,”はもの凄く前から用意してください。……“La…”は一回、歌い始めに舌を出してみてください。ドイツ人はそれぐらい形を作って歌いだす。



- 424 【freu-dig,】 “freu-dig,”という言葉はもう少し前に出るといいですね。
- 430 【Sie--】 “Sie-gen!”。“…ge…”はドイツ語特異の硬い“ゲ”です。鼻に抜けた“げ”じゃないです。



- 431 【--gen!】 “-gen!”。“…ゲム”じゃないです。“…ゲン”、“… n!”口を閉じない。女性は結構口をつむらないんですが、男性はつむる方が多いです!? つむっちゃうと“…m”になってしまう。必ず上あごに舌を付けて、口は開きっぱなし。
- 553 【feu-er-】 “feu-er-trun-ken,”のsfを忘れないように。英語でいうと“fire…”ですね。ここでホントに“火”をふかないといけない。
- 566 【teilt; al-】 “al-le Men-schen”でffが付けてあります。もちろん言葉の意味のとおりですね。“全人類”というわけですから、さらに広がり。この前、 sfが付いた“Hei-lig-tum!”(557)のあと“Dei-ne Zau-ber bin-den_ wie-der, was die_ Mo-de streng ge-teilt;”にはアクセントがひとつもないです。ここで落とすわけじゃないけど、“al-le Men-schen”の準備をしておいてください。
- ★ 566 【お話し】 前回は云ったと思いますが、指揮者を向いて歌わないでください。必ず立っている場所から真っすぐ。だんだん内向きになってる!? あくまで向く方向はお金払ってくれてる人のほう…お客様です。指揮者はどこか視界に入っていれば充分です。
- 590 【weit.】 “weit.”、長くしすぎない。2拍目には“…t.”が入っているように。……“weit.”が長い!!!! 長さどおりです!!!!



- 595 【Seid um-】 ちょっと声がベチャ〜っ としている!? “ザー”。良い意味でちょっと作ってみましょう。こもっちゃだめですけどね。……それぐらいの音量で充分です。それ以上がんばっちゃうと、ベチャ〜っとなってしまう。……準備が遅いです。楽譜は見ないでください。ここの前の音楽終わりました、休符があります、そこで緊張の糸をゆるめずに…トロンボーンが入ります…しっかり掴んで。ほとんど歌う前の準備をどうするかで決まると思ってください。
- 603 【Seid um-】 女性、“ Seid …”の音は硬くならないようにしてください。ドイツ語も南、オーストリアのほうに行くと、だんだん濁らなくなってくるんですね。英語とドイツ語は似ていても、“S”はほとんど濁らなくなっています。ここはあまり硬く思わないで“Seid …”。
- 609 【gan--zen】 最後にffに上がります。それをもうちょっと意識しましょうか。“全世界”ということですからね。怒鳴ってはいけないんですけど、“全世界”にふさわしいイメージを。



- 617 【Va-ter〜】 “Va-ter woh-nen.”というところは特にffに上がってるわけではないんですけど、ここも大切な言葉を歌っています。“Va-ter”というのは“父”ですけども、ここではもちろん“神”。“神がおわします…”ということです。“…いらっしゃるに違いない”。“…muß”、バス(622)、テノール・アルト(622)、ソプラノ(623)とズれています。“…違いない”という言葉があちこちから聞こえる効果をねらってベートーベンが書いています。そして“Va-ter”(625)広がりを感じて。



- 635 【Ah-nest〜】 ここの前、“ Mil-li-o-nen?”と歌ったあとに、一旦体がゆるんでしまって、位置が変わっちゃっている。“ Mil-li-o-nen?”と響きを作ったそのまま緊張を緩めない。そのまま“ Ah-nest du…”。
- 635 【Ah-nest】 ここはもっと神経を使って“Ah…”ここは飛び出さない。
- 639 【Such' ihn】 ここは歌いだし、“S”が3つ4つ、5つぐらいついているイメージ。
- 650 【〜】 ここから654小節まで楽譜見ちゃうとダメ! ぶち壊し。音は変わらないわけです。これは難しいですよ。不協和音が続いて、オーケストラも何拍目か分からなくなる。必ず覚えて歌ってください。必ず指示は出しますから。言葉は最小限でいいです。とにかくppの不協和音なんです。音をキープ。

- 655 【～】 ここから2重フーガ。“Seid_ um--schlun-gen, Mil--li--o-nen!”を歌うことは各パート必ず1回はありますが、しっかり言葉の頭を付けてほしいんです。メロディックに歌うんですが、言葉の頭はしっかり捕まえてほしいんです。この部分を応援歌のように歌わないでください。そして“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”は完全にメロディックにしてください。さきほどまでは完全に応援歌だった!? そして単発で出てくる第三の要素、“Freu-de!”。これはドイツ語特有の子音があるんですが、“p”がつく。“F…”じゃ少ない。破裂音がいる。充分時間をつくって“Freu-de!”。



- ♠ 702 【Seid_】 この部分、ちょっと弱いんです。アクセントよろしくお願いします。ソプラノから移ってきて、またソプラノに戻ります。
- 702 【Seid_】 それから、全パート云えるんですけど、“ザーイトウム シュルンゲン…”ってなっている!? “ザーイト_ウム シュルンゲン”です。
- 730 【Ihr stürzt～】 はい、はい? 首でリズムをとらない!? ここは綱渡りです。……皆さん、全部、短すぎます。休符はあるんですけども、もう少し余韻で続けてひとつの文章のようにつながってください。それと“ンパパパパパ ンパパパパパ…”というリズムです。今のみなさんは“ンタターン タターン”!?
- 745 【zelt! Brü】 “Brü-der”、ここで緊張から解放されたという安心感。……“-zelt”。まず“…ze”の御大の音があって、次に“…el…”があって、最後は“…t”。それだけていねいに言い切ってから“Brü-der!”。充分間に合います。



- ◆ 749 【ü～】 “ü--ber'm Ster-nen-zelt!” は母音に戻らなくていいです。それをやろうやるとすると、のどが締まっちゃうんです。もっと緩めていいですから。
- ◇ 751 【Ster--】 まずこの“ソ”のシャープを作ってください。ここから逆算する。今のみなさんはこの前の“ü-ber'm”のところまで固まってしまっている!?
- ◆ 759 【lie-ber～】 音が下がっている!?

- 818 【Dei-ne Zau-ber,~】 2回目のここ“Dei-ne Zau-ber, dei-ne Zau-ber, …”のほうが1回目(795~)の部分より早く、4小節でfの“ was die Mo-de…”にいきますので、cresc.が激しいです。すぐにcresc.してください。
- 832 【Men-schen!】 最後はしつこく伸ばさない。“al-le Men-schen!”をフツと収めてください。



- 855 【Seid um-schlungen,~】 “Seid um-schlungen, Mil-li-o-nen!…”これは口を動かさざるをえないです。前へ、前へ。
- 907 【fun-ken!~】 “…-ken!”の部分(912,920ともに)、口を閉じている人がいる!? ちょっとそりゃマズいなあ。“…n!”は響きが残るでしょ。
- 916 【-ter aus E-】 “Toch--ter aus”は、“ト〜オーホテル アーウス”では突然のpにできないでしょ。“…アウス”。速めに入れる。
- 920 【fun-ken!】 “Göt-ter-fun-ken! Göt-ter-fun-ken!”、テンポほとんど同じ。
- ★ 920 【お話し】 たぶん発音のことは先生から云われていると思います。たとえば“…n”で終わるのは口をつむっちゃいけませんとか、頭ではわかってらっしゃると思うのですが、思わず違うふうになってしまうというのは本番に向けてまずいことなんです。なかなかお仕事もあつたりいろいろあるとは思いますが、これから本番に向けてちょっとずつ見直す回数を増やして覚えていく。覚えてしまった…という場合でも、もうひとつ覚えていく。覚えたといってもそれがひとつの落とし穴で、言葉、そして強弱を、どこからfでどこからdim.なのか、毎回チェックして。案外、言葉と音符だけで終わっちゃうことが多い。強弱も含めて初めて「第九」といえますから。

◆ご指導、ありがとうございます。ピアノ伴奏の先生もいつもお疲れ様です。
 ◆1/4は覚えたみたいです…ラストパートがんばります。森口先生のエネルギッシュなご指導、腰と足が痛くなりましたが、楽しかったです。
 ◆遅刻したので詳しくは不明ですが、映画放映のチケットのノルマがあると聞き、おどろいています。合唱に参加すること、映画の撮影に協力する事は認めましたが、制作運営に私たちは義務はないはず。何か勘違いされてい

ませんか? 運営の問題を押し付けないでほしいです。まずは全員に相談して決めてください!
 ◆大きな声を出してストレス発散になります…その分、体を使ってコリコリです。ストレッチをして頑張ります♡(ミーヤ)
 ◆森口先生ありがとうございます。(バーバママ)
 ◆森口先生のエネルギッシュな御指導、有り難うございました。残り1か月、みなさん頑張りますよ。 (KuniKuni)
 ◆この前よりも発音を気をつけて歌いました。発声はとても大切だ

なと思いました。暗譜でうたえるようになりたいです。
 ◆今日は東京から帰って直行しました。疲れたあ〜。でもピーンと。(セ口弾きのゴーシュ)
 ◆今日はところどころ、楽譜を見ずに歌うこともできたし、声もでてよかったと思う。
 ◆市民音楽祭→第九の練習と一日中、音楽にひたっていましたが、とても充実した日曜日をすごしました。今日の家事は「0」に近しい♪)
 ◆森口先生の力強いご指導、ありがとうございます。

◆本番に向けてがんばる気力がわいてきたようです。気持ちをこめることの大切さを教えて頂きました。

◆2回目の森口先生のご指導を受け、歌い方がよく分かり、大変勉強になり感動しています。やっと60%歌えるようになり、うれしいです。残り80%になるように頑張ります。森口先生、ありがとうございました。

◆昼間の市民音楽祭に参加出演されていた方が多く、皆さん、良く声が出ていたよう感じました(森口先生のマホウの指揮のせいかも!?) 疲れていても楽しい練習でした。(メダカのおばちゃん)

◆やはり体力大事!!

♥先生のエネルギッシュさがスゴく伝わってきて、わかりやすかった。

♥今日、森口先生が指導してくださったことを家でさらってきまへす。

♥覚えることが一杯。今度まで復習します。(2年生)

♥本日、64回市民音楽祭でした。一日中、音楽に浸ってます。し・あ・わ・せ(イマカン)

♥おつかれさまでした。(チーママ)

♥とっても楽しいご指導で、わかりやすくて良かったです。

♥さすが森口先生のご指導は緊張感があり、情熱的で的を射ていてわかり易いです。ピアノ伴奏もすばらしく上手です。ありがとうございます。(N.K.)

♥本番が楽しみです。今日の指摘された事を忘れないよう頑張ります。 (日向キルトママ)

♥歌詞!!

♥発音の細かいところまで指導していただき、大変勉強になりました。

♥残りの練習もあと3回なので、大切にしていきたいです。

♥森口先生の指揮がとてもわかりやすく、本番もこうだとよろしいのですが、そうはいかないでしょう。(Emily)

♥nが気になります。

♥森口先生のご指導をしっかり頭に入れ、本番に備えます。むずかしいけど頑張ります。 (ヨッチン)

♥本番まで後1ヶ月。まだ覚えられず楽譜を目で追っている。がんばれ私。森口先生のご指導はすばらしかったです。

♥今日はすばらしい指導に元気が出ました。ありがとうございます。

♣最後までさわやかに行きこうと思います。

♣本番は来月、練習は厳しくなりました。聖夜が難しい。

♣おつかれ様でした。nの発音、口を閉めない様に気を付けているのですが、ところどころ口を閉めてしまいます。注意! 注意! (Moo56)

♣本番がんばります。

♣森口先生の表現たっぷりに、じーっと見ていました。しかし本番では観客の方を見てくださいよ。指揮者の方は片方にと…。久しぶりに緊張しました。(ヒロ一)

♣いよいよあと1ヶ月、頑張らねば…。(RS)

♣細かい所まで厳しい指導でした。

♣練習します。

♣声がかすれないようにおなかからうたいます。(ねこふんじやった)

♣森口先生、ご指導ありがとうございました。歴代のマエストロでは体験しなかった音楽づくりを新鮮な気持ちで享受することができました。(す)

♣森口先生のご指導、情熱あふれるものでしたが、難しいです。本番迄にどこまでマスターできることか。キーワードは“n”ですね。今回も堀田さん、お世話になりました。

♣今日は祝子温泉まで自転車で行って来た。練習中、腰とひざが…ウッ!!

♣今年出張が多くて、福岡から戻ってきました。元気の源です。今日の指導を吸収しなくちゃ。(マツチャン)

♣みなさんの声が響く瞬間がとても素敵な時間でした。(K.C.)

♣森口先生の要求が少しずつ浸透してきた。

♣お疲れ様。(歌太郎)

♣先生2回目の指導! 内容がなかなか暗譜できない。気持ちを込めるためにも1ヶ月でおぼえたい。(Tyuu)

♣細かいところまでよくわかりました。(がみchan)

♣…大丈夫かなあ? 指揮者の最後の指導だというのに、ここにきて今さら“Freu-de!”を飛び出す団員、自信のないところは歌わないでもらいたい。また、旋律も音の強弱も無視して、どこもかしこも般若心経的な歌い方で木魚を叩き割るような勢いのff…あなたですよ、あなた! 心当たりのある方は、頭を冷やして冷静に歌ってください。(砂糖大根農家)

●編集後記

次回は**12月4日(日)13:30~16:30**

さて、あとは本番の公演まで本日を入れて練習が3回です。“Freu-de, schö---ner Göt-ter-fun-ken!

Göt-ter-fun-ken!”と歌い切ったら……………来年まで歌うことはできません。【munenori@horita.jp】